

保健福祉企画総務課長 様

担当課長 交通政策課 山崎 康司

設計支援委員会結果報告書

平成19年 11月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について、結果を報告します。

記

<p>事業名 (整備概要)</p>	<p>交通結節点整備事業 岡山駅東口広場一般車乗降場等整備 場 所 岡山市駅元町1-1地先 内 容 一般車乗降場及び駐車場の整備 整備面積 A = 約3,400㎡ 一般車乗降場4台から14台へ変更 駐車場53台 整備年度 平成19年度</p>
設計支援委員からの意見	具体化の結果・状況
<p>1. 視覚障害者用点字ブロックについて 斜め(直角以外)誘導を極力避けてほしい。また、噴水の周りの待合い部分と点字動線が重なる。斜めに点字ブロックがなる場合の対処として、駅の出口付近に広場の案内標示盤を設置して斜めであることを判るようにできないか。</p> <p>横断歩道のたまり部分に自転車が放置してあり点字利用者の利便性が悪いのではないか。</p> <p>横断歩道の点字の位置は真ん中で良い。端の方が自転車とぶつがりそうになり危ない。</p>	<p>東口、西口広場と整合を図りながら、極力斜め誘導にならないように検討します。 また、斜め誘導になった場合は、案内標示盤の設置等を検討します。</p> <p>今後も、自転車の撤去を進めていく。</p> <p>横断歩道の中心へ点字を配置する。</p>

設計支援委員からの意見	具体化の結果・状況
<p>2．障害者用乗降場について</p> <p>西口広場は9台の乗降枠に対して2台あるがそれに比べて少ないのではないのか。</p> <p>乗降場と歩道の段差はないのか。</p> <p>3．駐車枠について</p> <p>車椅子に水色の着色の国際基準を使う予定はないか。</p> <p>A案</p> <p>運転席側に乗降スペースを設けてあり助手席側の乗降は、歩道を利用して乗降する。</p> <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道側への乗降は、横断歩道が近いことから道路を横断する歩行者の溜まり場となっている。 ・現況歩道との取り合いが、困難なことから助手席側後部座席あたりが後ろ部分は歩道と駐車場に段差ができる。 <p>B案</p> <p>運転手側と助手席側へ乗降スペースを確保するしている。</p> <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場内を横断すること。 <p>B案が良い。両側に乗降枠があるので前から停めても後ろから停めても良い。</p> <p>駐車枠が空いているかどうか問題である。障害者以外が止めない方法を考えていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現況の限られた範囲内で、障害者用枠は一般車用枠より広いことから、2台分を確保することは難しい。 ・ほぼフラットで考えている。ただし、車の進入防止のために所々に車止めを考えている。 ・既存部分の4台枠は、現況どおりで段差ができています。 <p>今回は、予定していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B案を優先して進めていく。 ・今後、検討していきたい。